

【日 時】 2024年6月24日

【会 場】 埼玉県理容美容専門学校・浦和校舎 2階学生ホール

【委 員】 評価委員 4名

委員長	校 長	増村 信雄
	事務長	島田 美紀
	本部長	千住 義祐
	総務課長	佐藤 義博

1. 開会の辞（校長 増村信雄）2024年度 自己点検評価委員会を開催することを宣言
2. 校長挨拶（校長 増村信雄）

2023年は「新型コロナウイルス感染症」が感染症の5類指定となった。通常の学校運営が可能となった一方で、国民生活が大きく変化し学生の対応に苦慮する場面が増えている。新校舎移転の2年間を通じ、新しい教育環境での成果及び問題点などに着目して、活発な意見交換を求める。

3. 審議事項

（1）教育理念・目標

校長 / ① 本校の教育理念、目標は「新型コロナウイルス感染症」による日常の変化にかかわらず堅実に維持されている。よって「5」の評価としたい。

千住 / ② 職業教育の充実のためオムニバス形式の授業とした「毛髪科学」により多様な演習を実施した。またサロンワークでは一階のサロン実習室を活かして接客に必要な実践授業を取り入れた。社会のニーズなどを踏まえた学校の将来構想は、社会人や留学生の受け入れを想定した入試区分とリカレント教育の体制により「5」が妥当と考える。また、③についても「5」の評価で良いと考える。

④ 総合型選抜のアドミッション・ポリシーを通じて本校志望者には本校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想は周知している。保護者に関しても入学時に保護者説明会などの機会を通して周知を図っている。「5」は妥当と考える。

⑤ 各科の教育目標については、理容業界には「思いやり」をテーマに介護理容へのニーズを踏まえたカリキュラムを設け、美容業界には生涯教育も踏まえて「おもてなし」を手テーマに日本文化をふまえた和装着付けとヘアセットを実践している「5」の評価と考える。

（2）学校運営

校長 / ① ②職業実践専門課程の目的に沿った学校運営を策定し、②及び③に関しては①の方針に基づきリーダー会議、理事長の参加する運営者会議にて年度計画として策定し、理事会、評議委員会の承認を得たうえで計画されている。①②については寄付行為やその他の規

定に沿って行われており、いずれも「5」としたい。

- 島田 / ③ 文科省・私学に関する法令の改正に対応するため新法に併せて整備中であるため「4」とした。
- ④ 人事や給与については就業規則や給与規定を整備し、又法令に基づき適正に運用されているので「5」としたい。
- ⑤ 教務・財務等の組織整備については整備されているので「5」としたい。
- ⑥ 業界や地域社会に対するコンプライアンス体制は整備の見直しを図っている。過渡期にあたるので「4」としたい。
- 千住 / ⑦ 教育活動の情報公開は教育課程編成委員会の議事録、シラバスをホームページにて公開実施している。また就職状況及び校外活動についても順次公開している。これは「5」の評価としたい。⑧の情報システム化については整備中であり「4」としたい。

(3) 教育活動

- 千住 / ①～⑥に関して目標を充分達成しており、「5」の評価と考える。また⑧は教育課程編成委員会や学校関係者委員の審議内容等を、体系的なカリキュラム編成に活かしているので、「5」の評価としたい。⑦⑨については単位履修規定を設け客観的な指標としてGPAを算出するなど明確化をはかっている。⑩に関しても基本カリキュラム中に資格取得に必要な知識や技術を取り入れ、段階的に上位資格の取得が可能な体制をとっている。⑪⑫では業界団体等と連携し、実践的な職業教育を行っている。⑬⑭は状況が前年に比較して改善され研修が実施できたので「5」としたい。

(4) 学修成果

- 千住 / ①②について、高い水準が維持されているので「5」とした。③の退学率については、低減に取り組んだが大きな改善には至らなかったため「4」が妥当と考える。また卒業生の社会的活躍や評価を把握については、急速に発達しているSNSの利用により大きな改善がみられたので④⑤の項目は「5」の評価としたい。

(5) 学生支援

- 島田 / ①の就職に関する支援体制は、引き続き担当職員を中心にキャリアガイダンスの実施や学生の個別相談を実施しており「5」が妥当と考える。②③は総務課を中心とした学生生活に関する支援がありカウンセラーを採用した。経済的な支援体制として文部科学省の「高等教育の修学支援制度」、厚労省の教育訓練給付金等のサポート体制の他、家計急変に関しては関係各所よりの奨学金を活用して対応したので「5」としたい。④については毎年4月に実施する健康診断の他地域の病院などとの連携により「5」の評価とした。また⑤の課外活動については「新型コロナウイルス感染症」対策の緩和により十分実施できたので「5」とする。⑥は感染症対策を充実させ、⑦は学校と保護者がインターネット・アプリ、公式LINEを利用して24時間体制で相互に連絡がとれる環境を保持している。⑧の卒業生についてもキャリア・コンサルティングを継続して行い、Webで相談できる体制を実施しているためこれらは「5」と評価したい。⑨の教育環境は実際のサロンを想定した最新設備を活かして充実を

図り、⑩に関しては埼玉県庁の青少年育成事業、近隣中学校の上級学校インターンシップ、県内高等学校進路部主催の進路学習への参加など十分に連携して、キャリア教育と職業教育に貢献しているとして「5」の評価が妥当と考える。

(6) 教育環境

佐藤 / ①②施設や設備については、最新の施設設備が運用され教育環境が達成され、実務実習も実施できたため「5」、③の防災体制については、毎年度防災訓練を実施し、災害時の対応や避難訓練を行っているが、災害時用の備蓄も計画的に進める過渡期にあたるため「4」としたい。今後は防災に対する体制を整備していきたい。

(7) 学生の受入れ募集

千住 / ①、②の学生募集活動は、適正に行われており関係諸機関との申し合わせに則って実施している。高校でのガイダンス、保護者向け説明会や個別相談において必要な情報を正確に伝え、信頼関係を構築しているので「5」としたい。

佐藤 / ③の学生納付金については、通常徴収する学費等の全額を公表し、その金額は本校の教育内容に鑑みて「5」が妥当である。

(8) 財務

佐藤 / 2023年度は定員を充足している。①～④は月次毎に会計事務所の精査を受け、年1回の会計監査も監事により適正に執行されている。また財務情報については、学費の見直しにより適正価格への変更を完了した。また、9月に北浦和旧校舎跡地を売却完了したので長中期にわたる安定した財務基盤づくりが確保できたので「5」の評価としたい。

(9) 法令等の遵守

校長 / ①寄付行為の見直しと現行の専修学校設置基準や理容師養成施設指定規則・美容師養成施設指定規則、その他関係法令等を遵守していることで「5」の評価が妥当である。

島田 / ②の個人情報の保護はネットワーク・セキュリティ強化を図っているが途上であるため「4」としたい。また③の自己評価については、2022年度からの改善懸案がまだ十分に対応しているとは言えず「4」としたい。自己評価結果をホームページ上に公開しそれに対する評価と問題点の改善についても公開しているので「5」が改妥当と考える。

(10) 社会貢献・地域貢献

千住 / 2023年度は「感謝祭」など従来の地域貢献行事が実施できた。また継続して地域の中・高等学校インターンシップ事業への協力依頼を受けて職業訓練教育を実施した。①②は「5」としたい。③は県民生活部青少年課主催の「リアル体験教室」に協力するなど幅広く貢献したので「5」としたい。

総 評

校長 / 少子化の進行する中でも、専門学校の特性や本校の充実した教育環境をアピールして優秀

な学生の確保に努めたい。入学した学生が安心して学べる教育環境を整え、全員が職業人として自立ができるようサポート体制を充実していきたい。

以上